

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	重要物流道路 一般国道101号 <small>おいらせ</small> 追良瀬Ⅱ期バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	青森県
起終点	自：青森県 <small>にしつがる</small> 西津軽郡深浦町追良瀬 至：青森県 <small>にしつがる</small> 西津軽郡深浦町広戸	延長	3.6 km		
事業概要					
一般国道101号は、青森市青森市を起点とし秋田県秋田市を結ぶ延長約270kmの道路であり、平常時・災害時を問わない安全で安定した輸送の確保、幅員狭小、線形不良区間、津波浸水想定区域、落石・崩落箇所の回避を目的とし、西津軽郡深浦町追良瀬～西津軽郡深浦町広戸までの延長約3.6kmを整備するものである。					
H20年度事業化	—	H21年度用地着手	H22年度工事着手		
全体事業費	約50億円	事業進捗率	約54%	供用済延長	— km
計画交通量	3,200台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 3.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 25/136億円 事業費：18/126億円 維持管理費：7.1/11億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 91/175億円 走行時間短縮便益：87/168億円 走行経費減少便益：3.3/6.0億円 交通事故減少便益：0.47/0.71億円	基準年	令和3年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.2～1.4 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3～1.3 (事業期間±20%)		(残事業) 交通量：B/C=3.2～3.9 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.8～5.3 (事業費±10%) 事業期間：B/C=3.6～3.7 (事業期間±20%)			
事業の効果等					
<p>①地域経済の支援 重要港湾の能代港と津軽地域の安定的な輸送が図られ、物流の効率化、取扱量の増加による産業振興の支援への寄与が期待される。</p> <p>②交通事故の減少 幅員狭小、線形不良区間の回避による交通事故の減少が期待される。</p> <p>③防災機能の向上 津波浸水想定区域や落石・崩落危険箇所を回避し、緊急輸送道路の機能が強化される。 [防災点検要対策箇所(落石・崩壊)通過数] 整備前：6箇所 → 整備後：0箇所</p> <p>④地域住民の利便性向上 深浦町から津軽地方生活圏中心都市である五所川原市までのアクセスが向上する。 [深浦町～つがる総合病院(第二次救急医療施設)までの所要時間] 整備前：90分 → 整備後：87分(約3分短縮)</p> <p>⑤地域観光の支援 世界遺産白神山地や津軽国定公園等の主要な観光地へのアクセスが向上する。</p> <p>⑥交通量減少による安全性向上 現道は通学路にもかかわらず歩道未整備であり、バイパスへの通過交通転換により、現道を利用する歩行者の安全が確保される。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
・沿線1市3町(能代市、八峰町、鱒ヶ沢町、深浦町)、議会、商工会、観光協会で構成される国道101号整備促進期成同盟会より、早期整備の要望(令和3年12月16日)を受けている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					

事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等

周辺環境等に特に変化はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地取得率100%、事業進捗率約54%

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

改良工事等を推進して、早期開通を目指して事業を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

今後も路盤材、舗装合材に再生材を使用し、経費の縮減に努める。

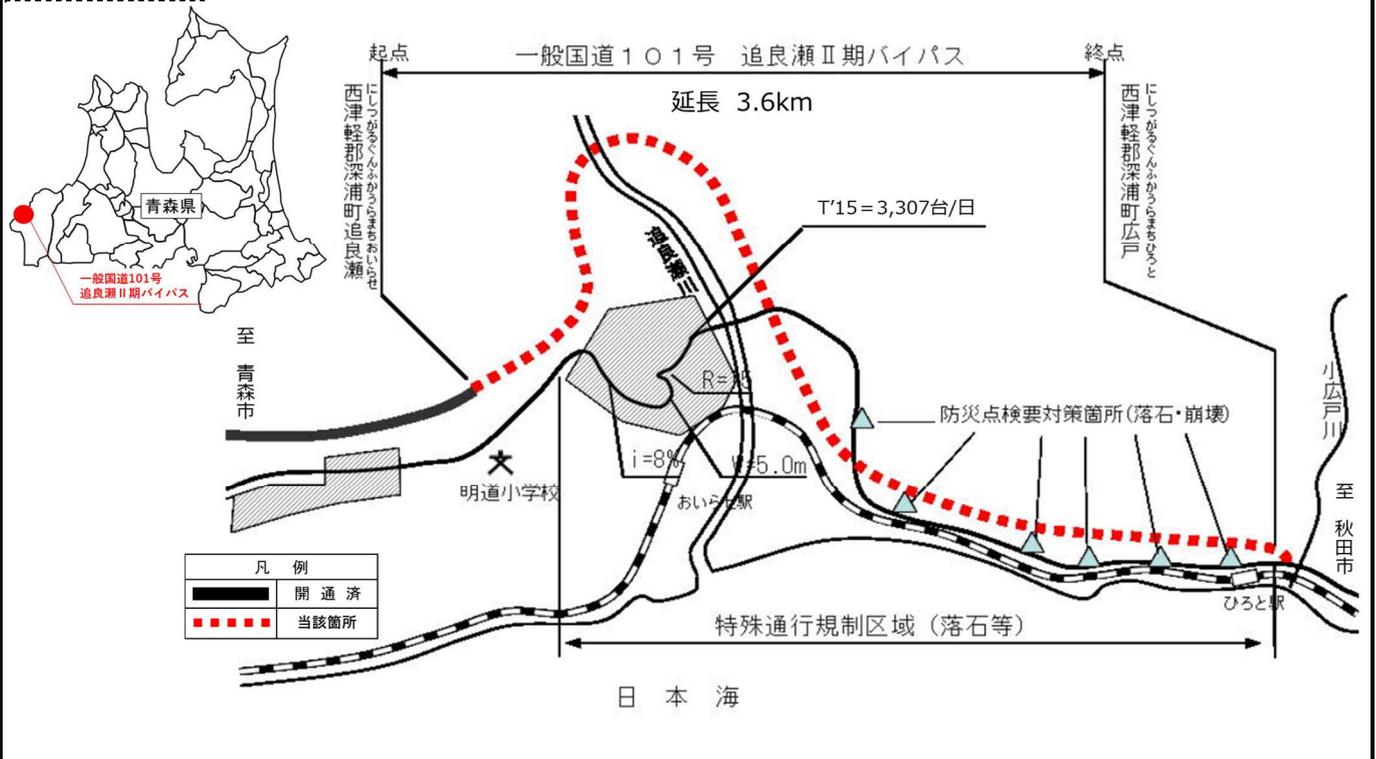
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。